### 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和7年4月30日

都道府県知事 殿

病院名 秋田赤十字病院

開設者 日本赤十字社 社長 清家 篤

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令(平成 14 年厚生労働省令第 158 号)第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。 また、併せて、同省令第 9 条に基づき、 1. 研修プログラムの変更、 2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

(研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に〇をつけてください。)

(1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 (報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に口をつけてください。)

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書-1-

病院施設番号: 030062 臨床研修病院の名称: 秋田赤十字病院

			記入日	:西暦	2025年	4月25日
病院施設番号		臨床研修網	病院群の名称	名称		
(基幹型、協力型記入)			(基幹型、協力型記入)			
既に番号を取得している臨床研修病院につい	ては 030062		既に臨床研修病院群番号を有している臨			
病院施設番号を記入してください。		床研修病院群に   てください。	こついては、番号も記入し			
作成責任者の氏名及び連絡先	フリカ゛ナ ニシタニ	ュウスケ	役職	<u>i</u>		
(基幹型、協力型記入)	 氏名(姓)	(名)	 人事課研修係長			
本報告書の問合せに対して回答できる作成	, , , , ,	\ _'			(内線	2255)
責任者について記入してください。	西谷 悠佑 (直通電話(018)829—5000)				·	
		יפי ודו			u@akita-med	·
			<u>C IIIa I</u>			
				(捞帘电話0	Dメールアドレスは 	(个月としまり。)
1. 病院の名称	フリカ゛ナ アキタセキシ゛ュウシ゛ヒ゛ョウイン		•			
(基幹型、協力型記入)						
	秋田赤十字病院					
2. 病院の所在地及び二次医			tr			
療圏の名称	T 0 1 0 1 4 9	5 ( 秋田	都・迫・府・県》			
(基幹型・協力型記入)	│ │  秋田市上北手猿田字苗代沢222-1					
		電話:(018)82	9—5000 F	A X : (0	18) 829	<b>-5255</b>
	二次医療圏					
	の名称: 県央					
3. 病院の開設者の氏名(法	フリカ゛ナ ニッホ゜ンセキシ゛ュウシ゛シャ	 シャチョウ セイケ アツシ				
人の名称)						
(基幹型・協力型記入)	日本赤十字社  社長  清家 篤					
		71757 7119				
4. 病院の開設者の住所(法						
人の主たる事務所の所在	1 0 5-8 5 2 1	(  東京  (都)	・道・府・県)			
地)	港区芝大門 1-1-3					
(基幹型・協力型記入)	尼巴尼八门工工					
(奉轩至•1)加力至記入/		南壬 (00) 046	75005	A V (O)	0) 0400	1 0 0 0
	-uL* 1	電話:(03)343		AX: (U,	3) 3438	<u> </u>
5. 病院の管理者の氏名	フリカ゛ナ カワイ		<u> </u>			
《基幹型・協力型記入》	姓	*	名			
	河合 		秀樹			
6. 研修管理委員会の構成員の	)氏名 * 別紙1に記入					
及び開催回数	研修管理委員会の全ての構成員	(協力型臨床研修病院及び臨床研修	<b>修協力施設に所属する者を</b>	含む。)について	記入してください。	•
(基幹型記入)						
(基幹型記入)	病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。					
	WASSEL CHANGE OF CASEMBOOK	THE STATE OF THE PROPERTY OF T		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	_					
8. 病院のホームページアドレ	ス					
(基幹型・協力型記入)	http://www.akita-m	ed.jrc.or.jp/				
	1					

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書-2-

病院施設番号: 030062 臨床研修病院の名称: 秋田赤十字病院

		<u> </u>			
Q 库研 / 延修屋	た今む ) の呂粉	^			
9. 医師(研修医を含む。)の員数					
(基幹型・協力型記入)			計(常勤換算): 130.4名、医療法による医師の標準員数: 55.6名		
10 おみにきつ	お名声応到ウネサー		* 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A一3に記入		
10. 救急医療の	救急病院認定の告示		告示年月日:西暦2024年1月31日、告示番号:第 42 号		
提供の実績 (基幹型・協力型記入)	医療計画上の位置付け		1. 初期救急医療機関 (2.) 第二次救急医療機関 (3.) 第三次救急医療機関		
	救急専用診療(処置)室の有無		① 有( 324.030 )m² 0.無		
	救急医療の実績		前年度の件数: <u>16,285</u> 件(うち診療時間外: <u>11,577</u> 件)		
			1日平均件数:46.4件(うち診療時間外:33.3件)		
			救急車取扱件数: <u>3,582</u> 件(うち診療時間外: <u>2,413</u> 件)		
	診療時間外の勤務体制		医師:5名、看護師及び准看護師:13名 		
	指導を行う者の氏名等		* 別紙4に記入		
	救急医療を提供してい		内科系 (1) 有 O. 無) 外科系 (1) 有 O. 無) 小児科 (1) 有 O. 無)		
	る診療科		その他( )		
11. 医療法上の許	可病床数(歯科の病床数		1. 一般:447床、2. 精神:0床、3. 感染症:0床		
を除く。)			4. 結核:O床、5. 療養:O床		
(基幹型・協力型記入)					
12. 診療科ごとの	入院患者・外来患者・研		* 別紙2に記入		
修医の数			年次報告の場合には、患者数は報告年度のの前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。		
(基幹型・協力型記入)			研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度 分の想定を記入。		
12 床床の種別 =	ことの平均在院日数(小数第		1. 一般:11. 4 日、2. 精神:日、3. 感染症:日		
10. 7/4 /	. C 0 干均任则口奴(小剱第一		1. 一般:		
一世記記五八/   (基幹型・協力型記入)			T. PD1久 ロ、 り. 別、後 ロ 		
14. 前年度の分娩	544米4				
14.	「一致		正书力残什数:		
15. 臨床病理検	開催回数		前年度実績:11回、今年度見込:11回 ※報告・届出病院の主催の		
討会(CPC)	指導を行う病理医の氏名等		* 別紙4に記入 下に開催した回数を記入		
の実施状況 (基幹型・協力型記入)	剖検数		前年度実績: 9件、今年度見込: 9件		
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室 (1) 有		
			0. 無 ( ) 大学、( ) 病院		
16 平板医の+	<b>現</b> 枚医の定念		無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。		
16. 研修医のた   めの宿舎及び	研修医の宿舎		(1.) 有(単身用: 戸、世帯用: 6戸)   O. 無(住宅手当: 円)		
研修医室の有			有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。		
研修医至の有   無	TT 体 压 亡		無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「〇」と記入してください。		
<del>無</del> (基幹型・協力型記入)	研修医室		(1.) 有( 1室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。		
17. 図書、雑誌、	図書室の広さ		( 68. 195 ) m²		
インターネッ	医学図書数		国内図書: 500冊、国外図書: 60冊		
ト等が利用で	医学雑誌数		国内雑誌: 92種類、国外雑誌: 73種類		
きる環境及び	図書室の利用可能時間		0:00 ~ 24:00 24時間表記		
医学教育用機	文献データベース等の		Med l ine 等の文献データベース ( 1 ) 有 O . 無 ) 、教育用コンテンツ ( 1 ) 有 O . 無 ) 、		
材の整備状況利用環境			その他(医学中央雑誌)		
(基幹型・協力型記入)			│		
	医学教育用機材の整備		医学教育用シミュレーター (1.) 有 0. 無)、		
	状況		と子教育用フミュレーメー ( T.) 有		
	V 1//U				

### 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書-3-

030062 臨床研修病院の名称: 秋田赤十字病院 <u>病院施設番号:</u> 病歴管理の責任者の氏 18. 病歴管理体制 フリカ゛ナ ミヤザ゛キ 77 (基幹型・協力型記入) 氏名(姓) 宮崎 氏名(姓) 真季 名及び役職 役職 診療情報管理係長 診療に関する諸記録の (1.)中央管理 2. 各科管理 管理方法 その他(具体的に: ) 診療録の保存期間 (7)年間保存 1.) 文書 2. 電子媒体 診療録の保存方法 その他(具体的に:平成24年以前については文書保存あり。スキャン 文書は令和2年1月10日分まで原本文書保存。 ) /ſ. 有 ( 1 名) O. 無 19. 医療安全管理体制 安全管理者の配置状況 (基幹型・協力型記入) **育を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。** 職員:専任(1)名、兼任(13)名 安全管理部門の設置状 況 主な活動内容:医療安全に係る指導・情報・会議等・教育に関すること。 医療事故の調査等に関すること等 患者からの相談に適切 患者相談窓口の責任者の氏名等: に応じる体制の確保状 ジュン フリカ・ナ マルヤ 氏名(姓)丸屋 況 氏名(姓)淳 役職 副院長(兼)第一脳神経外科部長 対応時間(8:30 ~ 17:0g)24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無:(1)有 0.無 医療に係る安全管理の 有 0.無 ための指針の整備状況 指針の主な内容: 医療事故防止のための一般的な留意事項、トラブルへの対応、部門別事 故対策から構成される「医療事故防止マニュアル」を整備。医療事故発 生時の対応と併せて事故回避策の指針を文章化。 年(12)回 医療に係る安全管理委 員会の開催状況 活動の主な内容: 各部門からのトラブルレポート・ヒヤリ・ハットの事例報告、トラブル 例の事例分析。当月の検討課題検討を実施。 医療に係る安全管理の 年(8)回 ための職員研修の実施 研修の主な内容:院内講師による前年度インシデント回顧や医療事故防 状況 止対策、職員安全・防犯研修会について。 医療機関内における事 医療機関内における事故報告等の整備: (1.)有 O. 無 故報告等の医療に係る その他の改善のための方策の主な内容: 安全の確保を目的とし インシデント・アクシデントレポート制度を導入し、報告に基づく情報 た改善のための方策 収集を行い、事故の未然防止と再発防止に努めている。 20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 修了: 8名 (基幹型・協力型記入) 中断: 0名 21. 現に受け入れている研修医の数 前年度 当該年度 前々年度 (基幹型・協力型記入) 1 年 9 10 10 2 年 8 9 10 22. 受入可能定員 許可病床数(歯科の病床 許可病床数 (447) 床÷10= (47) 名 数を除く。)から算出 (基幹型・協力型記入) 年間入院患者数 ( 9,657 ) 人÷100= ( 10.0 ) 名 患者数から算出 23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置 1. 精神保健福祉士: 名、非常勤: O名(常勤: 名) 状況 6名、非常勤: 2. 作業療法士: 6名(常勤: 名) (基幹型・協力型記入) 3. 臨床心理技術者: 4 名 ( 常勤 : 3名、非常勤: 1名) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。 9. その他の精神科技術職員: 名、非常勤: O名(常勤: 名) 24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 1) 有(評価実施機関名:卒後臨床研修評価機構 ( 2022年2月3日)) O.無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。 (基幹型記入) 受審状況有りの場合、結果の公表 1) 有

#### 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書-4-

<u>病院施設番号</u>: 030062 秋田赤十字病院 臨床研修病院の名称: 項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。 X 25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 \* 別紙5に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 (基幹型記入) 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。 26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 女性 1年次研修医( O )名 2年次研修医( O )名 男性 1年次研修医(O)名 2年次研修医(O)名 (基幹型・協力型記入) 0. 無) 27. 研修医の妊娠・出産・育児 院内保育所 院内保育所の有無 (1.)有 有を選択した場合、開所時間を記入してください ( に関する施設及び取組に関す る事項 (1. 有(O)無) 病児保育 夜間保育 (1.)有 O. 無) (基幹型・協力型記入) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か ((1.)可 O. 不可) 保育補助 ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有(0.)無) その他の補助(具体的に: (1.)有 0. 無) 体調不良時に休憩・授 休憩場所 乳等に使用できる場所 授乳スペース ((1))有 0.無) その他育児関連施設・ 取組があれば記入(院 外との連携した取組も あれば記入) (1.)有 研修医のライフイベン 0. 無 窓口の名称がある場合記入( 臨床研修センター トの相談窓口 窓口の専任担当(1.)有(2名)0.無 各種ハラスメントの相 窓口の名称を記入(ハラスメント相談員 ) 窓口の専任担当(1.)有(12名)0.無 談窓口 ※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容につ いても記入してください。 28. 研修プログラムの名称 研修プログラムの名称:秋田赤十字病院研修プログラム (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。 プログラム番号:030062505 29. 研修医の募集定員 1年次: 8名、2年次: 8名 (基幹型記入) 30. 研修医の募集及び採用の方 研修プログラムに関す ジュンイチ フリカ゛ナ ナカハタ 法 る問い合わせ先 氏名 (姓) (名) (基幹型記入) 中畑 潤一 役職 所属 救急科部長 秋田赤十字病院 電話:(018) 829-5000 FAX:(018) 829-5255 e-mail: kensyu@akita-med.jrc.or.jp URL : http://www.akita-med.jrc.or.jp/ 資料請求先 住所 <del>-</del> 010 — 1495 ( 都・道・府・県) 秋田 秋田市上北手猿田字苗代沢222-1 担当部門 担当者氏名 ユウスケ フリカ゛ナ ニシタニ 名 姓 悠佑 西谷 電話:(018)829—5000 FAX: (018) 829-5255 <u>e-mail: kensyu@akita-med.jrc.or.jp</u> URL : http://www.akita-med.jrc.or.jp/

## 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書-5-

病院施設番号: 030062 臨床研修病院の名称: 秋田赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新記	役の場合は、上記内容と併せて	て以下の内容についても記入してください。			
30. 研修医の募集及び採用の方	募集方法	① 公募			
法(続き)		2. その他(具体的に:	)		
(基幹型記入)	応募必要書類	① 履歴書、2. 卒業(見込み)証明書、3 成績証明書、			
	(複数選択可)	4.健康診断書、5. その他(具体的に:	)		
	選考方法				
	(複数選択可)	章.) 筆記試験			
		その他(具体的に:	)		
	募集及び選考の時期	募集時期: 6月 1日頃から			
	31 31 32 33 33 33 33 33	選考時期: 7月19日頃から			
	マッチング利用の有無				
	( ) ) ) )   11   10   H   m	<i>→</i> H 0. <i>m</i>			
31. 研修プログラムの名称及び	が概要	概要: * 別紙3に記入			
(基幹型記入)		(作成年月日:西暦 2025年 4月 1日)			
32. プログラム責任者の氏名等	F(副プログラム責任者が	(プログラム責任者)			
配置されている場合には、そ	(の氏名等)	フリカ゛ナ ナカハタ シ゛ュンイチ			
(基幹型記入)		氏名(姓) 氏名(名)			
* プログラム責任者の履歴	を様式A-2に記入	中畑    潤一			
* 副プログラム責任者が配	置されている場合にあっ				
ては、副プログラム責任者					
		(副プログラム責任者)			
	AT OF A AT				
33. 臨床研修指導医(指導医)	等の氏名等	* 別紙4に記入			
(基幹型記入) 全ての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院	<b>完に所属する臨床研修指導医及び臨床</b>				
研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行					
てください。					
34. インターネットを用いた評	F価システム	<ul><li>f.)有( ・EPØC ・その他( ) ) O.無</li></ul>			
35. 研修開始時期		西暦 2025年 4月 1日			
(基幹型、地域密着型記入)					
36. 研修医の処遇	処遇の適用	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。			
(基幹型・協力型記入)	(基幹型臨床研修病院は、2に〇を	1 を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。			
	つけて、以下の各項目について記入 してください。)	② 病院独自の処遇とする。			
	常勤・非常勤の別	常勤 2. 非常勤			
	研修手当	一年次の支給額(税込み) 二年次の支給額(税込み)			
		基本手当/月(400,000円)基本手当/月(450,000	О Ш /		
		賞与/年(100,000円) 賞与/年(100,000円			
		時間外手当:(1). 有 O. 無			
	#1.76-1.70	休日手当 : ①. 有 O. 無			
	勤務時間	基本的な勤務時間( 8:30 ~17:00 )24時間表記	ᅼ		
		休憩時間( 45分間 )			
		時間外勤務の有無:1. 有 O. 無			
	休暇	有給休暇(1年次: 13日、2年次: 15日)			
		夏季休暇 (1) 有 0. 無)			
		年末年始 (1). 有 O. 無)			
		その他休暇(具体的に:	)		
	当直				
	研修医の宿舎(再掲)	1. 有(単身用: 戸、世帯用: 戸)			
		0. 無(住宅手当: 円)			
		有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。			
		無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「O	り」と記		
		入してください。			
	研修医室(再掲)	① 有( 1室) O. 無			
	4119 F. T. (TT)9/	有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。			
	社会保険・労働保険				
	江云怀昳:刀割休陕				
		公的年金保険(厚生年金)			
		労働者災害補償保険法の適用(1)、有 0.無)			
		国家・地方公務員災害補償法の適用(1. 有 ② 無)			
		│雇用保険 (1) 有 O.無)			

## 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書-6-

病院施設番号: 030062 臨床研修病院の名称: 秋田赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇(続き)	健康管理	健康診断(年 2回)			
(基幹型・協力型記入)		その他(具体的に			
	医師賠償責任保険の扱	病院において加入 (1) する O. しない)			
	l)	個人加入(1.強制 ② 任意)			
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加: 1. 可 0. 否			
		学会、研究会等への参加費用支給の有無: 1. 有 0. 無			
	院内保育所(再掲)	院内保育所の有無 (1) 有 0.無)			
		有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 時 分 ~ 時 分)			
		病児保育 (1. 有 ① 無)			
		夜間保育 (1). 有 0. 無)			
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1) 可 0. 不可)			
	保育補助(再掲)	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1.有 ① 無)			
		その他の補助(具体的に: )			
	体調不良時に休憩・授	休憩場所 (1) 有 (0. 無)			
	乳等に使用できる場所	授乳スペース (1). 有 0. 無)			
	(再掲)				
	その他育児関連施設・	(			
	取組があれば記入(院				
	外との連携した取組も				
	あれば記入)(再掲)				
	研修医のライフイベン	(î.) 有 O. 無			
	トの相談窓口(再掲)	窓口の名称がある場合記入( 臨床研修センター )			
		窓口の専任担当 1)有(2名)0.無			
	各種ハラスメントの相	窓口の名称を記入 (ハラスメント相談員 )			
	談窓口(再掲)	窓口の専任担当 ① 有( 12 名) 0.無			
37. 研修医手帳 (基幹型記入)		(1) 有 O. 無			
38. 連携状況 (基幹型記入)		* 様式A-6に記入			

<sup>※</sup>欄は、記入しないこと。

#### (記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1.研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2.研修プログラムの新設」に〇をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2.協力型臨床研修病院」の番号に〇をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度(以下「報告・届出年度」という。)の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号 1 から 26 までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 27 から 37 までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とすること。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表 に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について
- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、 当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。
- ※ 換算式

<u>非常勤医師の1週間の勤務時間数</u> =常勤換算をした数(小数第二位を四捨五入) 常勤医師の1週間の勤務時間数

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第 19 条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)。
- ※ 算出式

<u>精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)</u> +精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。) 3

+ <u>外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)</u> + <u>精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数</u> -52 × <u>1</u> +3=医師の標準員数 2.5

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること(歯科医師は記入しない。)。
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和 39 年厚生省令第 186 号) に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院 である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
- (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、 該当する番号に〇をつけるものであること。
- (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に〇をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に〇をつけること。
- (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365 又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。 また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日 直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に〇をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出 の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラ ム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。
- 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日 O 時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。
  - ※ 算出式

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄について
- (1)「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する こと。
- (2)「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に〇をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に〇をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「( ) 大学」に当該大学名を記入し、 剖検を他病院の剖検室で行っているときは「( ) 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎(当該病院の敷地の内外を問わない。)を有する場合は「1. 有」に〇をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に〇をつけるとともに、住宅手当の支給内容(全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等)を記入すること(住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。)。
- (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に〇をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に〇をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に〇をつけ、利用できない場合には「0. 無」に〇をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他( )」にその内容を記入すること。
- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に〇をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他 ( )」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1)「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録(診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等)に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」にOをつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を 具体的に記入すること。
- (2)「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1.文書」、電子媒体により保存している場合には「2.電子媒体」にOをつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1)「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に〇をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に〇をつけること。
- (2)「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3)「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、 患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に〇をつけ、有さない場合には「0. 無」に〇をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で 1 年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)からの算出(÷10)及び年間入院患者数(報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数+報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数)からの算出(÷100)の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- (1)「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に〇をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に〇をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に〇をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に〇をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に〇をし、預けることができない場合は「0. 不可」に〇をすること。
- (2)「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に〇をし、ない場合は「0. 無」に〇をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3)「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき 「1. 有」に〇をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に〇をすること。
- (4)「その他育児関連施設・取組」欄は、上記(1) ~ (3) に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合(院外施設・制度との連携した取組も含む)は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- (5)「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に〇をし、ない場合は「0. 無」に〇をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に〇をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に〇をすること。
- (6)「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に〇をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「O. 無」に〇をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに〇をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

- 31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1)「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1.公募」に〇をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2)「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに〇をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3)「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに〇をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に 記入すること。
- (4)「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5)「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1.有」にOをし、マッチングを利用しない場合には「O.無」にOをすること。
- 33 「研修医の処遇」欄について
- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に〇をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に〇をつけ(この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。)、また、病院独自の処遇とする場合には、2に〇をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額(税込み)、賞与の支給額を記入すること。基本手当が 月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合 には「O. 無」にOをつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられる こと。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に〇をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに〇をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険 ( ) 欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険 ( ) 欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに〇をつけること。
- (7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、 「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに〇をつけること。
- (9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに〇をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに〇をつけること。